



子どもミニディサービス まーぶる

まーぶるでは、日々子どもたちは元気に笑い歌い、時には元気に泣きます。天気の良い日はお散歩にでかけます。お花屋さんには季節の花があり、布団屋さんではいつものアンパンマン枕を発見！花壇では「あつてんとうムシ」「ちようちよもいる！」「ミニトマトを栽培しているお店の前では大きい子が「ここにはトマト…あれ？唐辛子になってるよ」小さい子は「消防車！」「飛行機！お空！」子どもたちは心豊かに楽しみ表現します。保育室やお庭を安全に整備してくれるデザイン会社さんと植木屋さん、寒い日でも温かいお湯が出るように工事してくれた水道屋さん、毎日届くおいしいお弁当屋さん、いつも笑顔で子どもたちを見守ってくださる近隣の方々、心より感謝申し上げます。市ヶ尾は子どもに優しい街です。



2000 「子どもミニディサービスまーぶる」開設

2002 「親と子のつどいの広場びよびよ」開始

2004 NPO法人認証

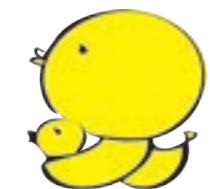
いるかくらぶ運営委員会を組織し、「パレット学童保育室いるかくらぶ」設立

2006 青葉区地域展開型子育て支援拠点開始

市ヶ尾第3公園愛護会事務局開始

くまーぶる>出張保育、休日保育開始

2008 <まーぶる>横浜市リフレッシュのための一時預かりパイロット事業を受託



親と子のつどいの広場 びよびよ



びよびよは、親子がいつでも気軽に来て、情報交換や友達作り、相談ができる居場所として、2002年に市ヶ尾でスタートを切りました。たくさんの親子が大切な時間を過ごし、生活の一部となっていたと感じています。2017年10月に、15年間慣れ親しんだ市ヶ尾から荏田に引っ越し、新たな一步を踏み出しました。移転当初は、毎日開いている子育て広場があることを知っている方が少なかったものの、最近は地域育児教室での広報を通じ、少しずつ「荏田のびよびよ」を受け入れられるようになり、広場を利用する理由は様々ですが親子の交流の場になっています。新しい地域で人ととのつながりができたことは本当に幸せでうれしいことです。びよびよは、これからも、親子が「にっこり」笑顔になり、気持ちが「ほっこり」する「みんなの広場」として、利用者・スタッフ・地域で共に支えあえる居場所でありたいと思っています。



青葉区地域子育て支援拠点ラフル 青葉区地域子育て支援拠点ラフルサテライト

パレットは「預かり」と「ひろば」を子育て支援の両輪として活動してきました。「区内で同じ思いを持つ人たちや施設が繋がりあえたら」「区内の情報を一元化して適切な情報を提供したい」との思いから2006年に区の独自事業「青葉区地域展開型子育て支援拠点」を運営、2011年から青葉台に「青葉区地域子育て支援拠点ラフル」を、2018年に市ヶ尾に「ラフルサテライト」を開設しました。妊娠期から就学前の家族が安心して過ごせる「ひろば」は様々な出会いと交流の場となり、新しい発見や勇気、元気を生む場でありたいと思います。また青葉区が安心して子どもを産み育てられる町であり続けられるようネットワーク作りにも力を入れています。子育てを共に支え合う地域環境づくりを目指しこれからも活動していきます。



2009 <まーぶる>横浜市乳幼児一時預かり事業を開始

2010 「パレット家庭的保育室なないろ」 開室

「おやこのおへや ぶーぶーしえすた」 週3日開室

2011 「親と子のつどいの広場ぶーぶーしえすた」 開始

「青葉区地域子育て支援拠点ラフル」を区との協働で運営開始



親と子のつどいの広場 ぶーぶーしえすた

「子育て世代の多いたまプラーザにも親子で行ける場がほしい」と、2011年青葉区の協力で週3日の開設、その翌年、市の補助事業として常設運営となりました。親子が集い、交流しながら、子育ての相談ができる場を創りたい！親子がお互いさまの気持ちで育ち合う交流の機会を創りたい！いつでも来て安心してすごせる「もうひとつの家」としての居場所作りを行なっています。また、たまプラーザ商店街で開催される夏祭りなどの企画や子育てタウンミーティングなどさまざまな取り組みにも参加しています。これからも時代の流れに対応しつつ、子育て当事者の不安を軽減し、地域の中で支え合いながら子育てができるように活動を続けながら、初心を忘れず「親子がともに育ち合う広場」になるよう開催していきます。



2014 <まーぶる>AOBA乳幼児ディレスバイト事業

横浜子育てサポートシステム青葉区支部を 青葉区社会福祉協議会より移管

2015 <なないろ> 家庭的保育室から小規模保育事業となる

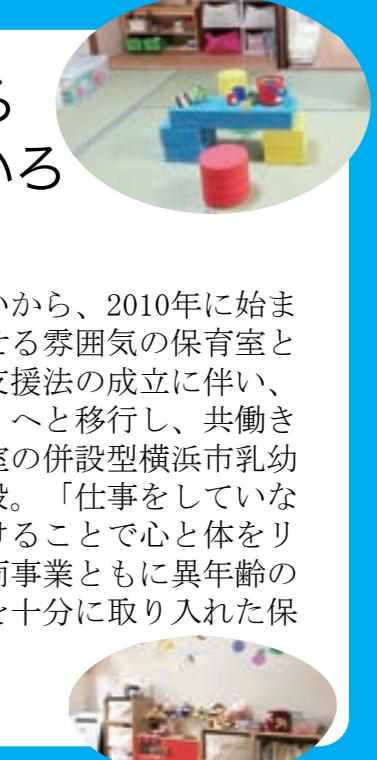
2016 「パレット一時預かりなないろ」を開設

2018 「ラフルサテライト」を市ヶ尾町で開始

2019 <いるかくらぶ>パレット運営になる



パレット家庭的保育室なないろ パレット一時預かり保育室なないろ



0～2歳の初めての集団生活は家庭のような雰囲気で保育したいとの思いから、2010年に始まった横浜市家庭的保育事業を申請し、少人数で第二の家庭のように過ごせる雰囲気の保育室として、「家庭的保育室なないろ」を開設しました。その後子ども子育て支援法の成立に伴い、2015年にはパレットでは初めての事業、認可の保育室「小規模保育事業」へと移行し、共働きの家庭や多様な家庭の預かりも行なっています。2016年より小規模保育室の併設型横浜市乳幼児一時預かり事業として「パレット一時預かり保育室なないろ」も開設。「仕事をしていくのに、預けていいのかしら？」とためらわれる保護者もいますが、預けることで心と体をリフレッシュできたという声も多く聞かれるようになっています。今後も両事業ともに異年齢の子どもたちがともに育ちあえる場になるように、ふれあい遊びや外遊びを十分に取り入れた保育をしていきます。

